NIPPON ANTENNA

取扱説明書

屋内用
衛星放送/地上デジタル/UHF・VHF受信用3分波器

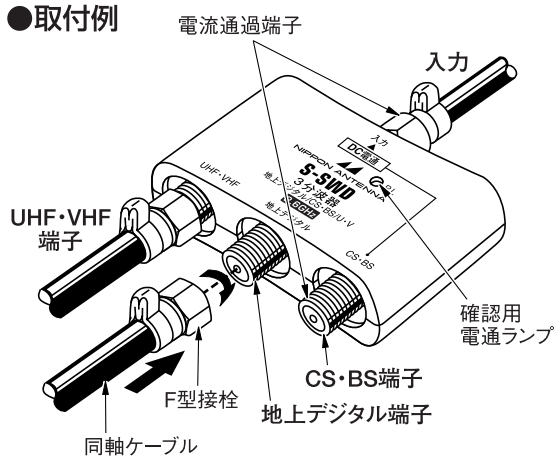
MODEL
S-SWD(20)

●この度は、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特 長

1. 地上デジタルとUHF・VHF(地上アナログ)とCS・BSを分波する機器です。
2. 本器はCS・BS端子から入力端子へ電流(最大DC15V・0.5A)を供給できます。確認用電通ランプ付です。
3. 内部ケースは亜鉛ダイカスト製ですので、高度のシールド効果が得られます。
4. 2602MHzに対応したシステム伝送を行う場合、使用機器、ケーブルは全て2602MHzまで性能が保証されているものをご使用ください。

●取付例



■標準性能表

項目	性能				
周波数帯域(MHz)	地上デジタル, UHF・VHF		CS・BS		
	VHF・UHF		BS-IF	CS-IF	
	10～90	90～770	1032～1336	1336～2150	2150～2602
通過帯域損失(dB以下)	5.0		2.0	2.5	4.0
阻止帯域減衰量(dB以上)	18	20	20		
端子間結合損失(dB以上)	15	20	20		
電圧定在波比(以下)	1.8		2.0	2.5	3.0
入出力インピーダンス (Ω)	75				
使用温度範囲 (℃)	−10～+40				

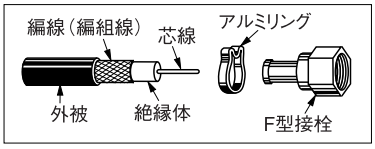
●CS・BS出力端子ー入力端子間電流通過　最大DC15V／0.5A

●同軸ケーブル加工法とF型接栓取付方法(別売品)

◆用意するもの

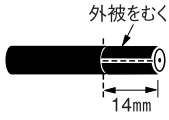
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■ケーブルの名称(75Ω用)



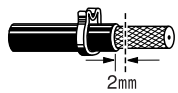
●アルミ箔付同軸ケーブル(FB型)の場合のアルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1㎜程度)



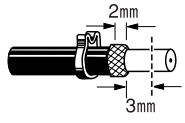
❷ 外被の皮をむきアルミリングを通しておきます。

❸ 外被から2㎜程度はなして編線(編組線)をていねいに切り落としてください。

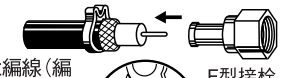


❹ 編線(編組線)をめくりあげます。

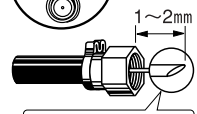
❺ 編線(編組線)から3㎜はなして絶縁体を切り、抜きとります。



❻ F型接栓を絶縁体(アルミ箔)と編線(編組線)の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。長くしますと接栓座を破損します。



ポイント

●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。

●芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。

⚠注意 加工の際の、切りくずの扱いや工具の仕様には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D831000810　平成16年6月